



発行 東京片貝会
発行責任者 藤塚悟・事務局 小宮善興
〒213-0035 川崎市高津区向ヶ丘115-8
電話 044-866-0189

東京片貝会

平成25年新年会御案内

師走の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

暖かかった10月から一気に冬が来たような気候ですが、お元気でしたか。

平成25年新年会を左記の通り開催いたします。今年も花火カレンダーなどの抽選と恒例の「木遣り」合唱で故郷を偲び、友好を温めましょう。お誘い合せて、多数ご参加いただきますよう御案内申し上げます。

記

日時 平成25年1月27日(日)
午後一時
(正午より受付)

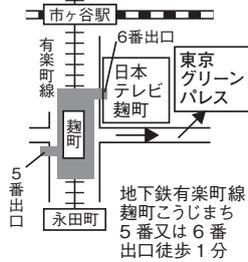
会場

東京グリーンパレス
東京都千代田区二の二

電話

03・5210・4600

会費 七、〇〇〇円



お願い

返信は1月15日(火)までにお願いたします。

郷土遺産 準原本
「やせかまど」 佐藤本
東京片貝会から
片貝町へ寄贈

このほど、東京片貝会所有の準原本「やせかまど」佐藤本は、片貝町(協議会)へ寄贈された。

片貝町では、コピーを総合センターに保管し、準原本は保管体制が整っている小千谷市立図書館へ寄贈する方向とすることである。現在、図書館には「やせかまど」新野本が保管されている。

「やせかまど」佐藤本(八冊構成)は、本年の東京片貝会総会に展示し、多くの方々から賞賛と管理に対するご意見をいただいた。

「やせかまど」は、片貝の庄屋、太刀川喜右衛門(一七五九〜一八二九)が、文化・文政時代を中心に、片貝の年中行事、当時起きたことなどを記したもので、後世貴重な文献

片貝総合センター宿泊が実施される

本年の片貝まつり、九月九日、十日の二日間、片貝町協議会のお骨折りにより、総合センターへの東京片貝会会員の素泊まり宿泊が実施されました。

近年、東京片貝会の会員から、実家、親戚が無くなり宿泊するところが無く、帰れないと言う声が聞かれ、片貝町とも相談してきました。総合センターは、宿泊を想定して設立されたものでは無

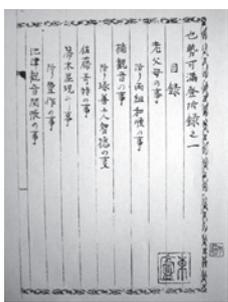
と認められている。原本は現在所在不明である。

写本は、昭和十年前後、当時の村長佐藤国二郎氏が郷土の貴重な資料であることに着目され、大西光太郎氏により作成された。この時、新野亮太郎氏が更に一部写本を依頼し作成されたのが、新野本と呼ばれる。「やせかまど」佐藤本は、国二郎氏の息子さんの佐藤彦一氏から、平成十二年東京片貝会へ寄贈された。(故彦一氏談)

佐藤国二郎氏は、明治二十八年片貝生まれで、佐藤家から分家された。佐藤本の各冊の目録のページに印鑑(絵参照)が捺印されている。この印鑑の左の文字は印

いために、今回は会員の研修を兼ねたものとした仮眠宿舎として対応して頂きました。宿泊には、いくつかの制約がありますが、素泊まりで一日十五名までです。本年は連絡が急であつたために、七名が体験宿泊を行いました。町中であり、近代的設備が整い立派な浴場もあり快適に過ごしました。

来年以降につきましては、更に細かな点を協議会と話し合いを行い、次回の総会で、皆様にご報告したいと考えています。



鑑用の文字で盧と同じ意味で「いおり」「そまつな家」で「ろ」と発音する。右の字は東であり印鑑用の文字で「とうろ」即ち、本家(佐藤家)の東の方向にある家と言う意味である。(故彦一氏談)

片貝町郷土史研究会では来年度の研究テーマとして、「やせかまど」が上げられており、二冊の写本の比較から新しい発見が期待される。(事務局小宮)

会の動き

理事会 5/26

於・新潟県人会館
藤塚会長以下16名出席
・会報発送 約800部
・総会打ち合わせ

第53回総会 6/24

於・東京グリーンパレス
出席 会員79名 片貝35名
片貝祭り厄年の会へ寄贈 9/9
祝酒 清酒2本ずつ寄贈
・成人、33歳、42歳、50歳、
還暦、伝統芸能保存会

片貝祭り奉納
出席 藤塚会長
相撲場機敷で会員観覧

約20名参加(例年機敷2枡を申し込み 祭り場での会員の懇親の場としています)
片貝総合センター宿泊体験
9/9、9/10

会員7名 宿泊体験
励ます会教育講演会 10/12
於・片貝中学校
出席 藤塚会長、内藤励ます会会長、安達副会長、小宮事務局長、徳永理事

「やせかまど」写本寄贈 10/12
於・片貝総合センター
藤塚会長、安達副会長、小宮事務局長

理事会 11/10

於・新潟県人会館
藤塚会長以下 15名
・総会反省
・諸行事打ち合わせ

東京の木遣り 片貝に届け！ 第53回総会開催

平成24年6月27日
東京グリーンパレス



第53回東京片貝会総会は会員79名、片貝からは大塚浩一片貝町協議会会長はじめ35名の方々に参加頂き盛大に開催されました。

藤塚悟会長が「少子化が進んでいるが東京片貝会は故郷片貝と連携をとり少人数になっても継続していく」と挨拶され、大塚浩一片貝町協議会会長、吉原正幸市議、友田明石JA越後おぢや組合長が来賓を代表して片貝の近況報告を

交えて挨拶されました。

又、今年も片貝小・中両校に図書費10万円ずつ寄贈しました。引き続き懇親会が開催され小中学校の校歌、伝統芸能保存会の「木遣り」と「シャギリ」、のど自慢大会などで盛り上げました。最後は恒例の「ああ上野駅」で故郷を思い、寺町明美さんの花火アナウンス入り「木遣り」を全員で熱唱、懇親会は終了しました。今回は、JA越後おぢや様より参加者全員に「小千谷産コシヒカリ」をプレゼントいただきました。

〔来賓出席(敬称略)〕

大塚浩一(片貝町協議会会長)、吉原正幸(小千谷市市議会議員)、友田明石(JA越後おぢや組合長、関広一(前小千谷市市長)、川上東陽(小千谷市観光協会会長)、清水千治(片貝中学校校長)、関晶子(片貝小学校校長)、安達隆(片貝中学校同窓会会長)、安部恒(片貝中学校同窓会副会長)、市川英雄(片貝町煙火協会会長)、山口恒(浅原神社社務長)、根本忠(片貝医院院長)、山村光雄(つどい会会長・還暦 外2名、小宮文男(恒友会会長・50歳)、

久賀清寿(翔心会会長・42歳)外2名、名塚孝一(片貝伝統芸能保存会会長) 外会員15名

〔会員出席者(敬称略)〕

(昭和13〜20卒)
黒崎音吉、山岸慶昭、本田ユキ、岩片智恵子、松下利夫、山口光雄、吉原俊六、佐藤昭六、小宮幸雄、中島ヨシ、西山和子、星シズ、江澤キヨ(昭和21〜30卒)
清水好男、佐藤安治、神林勝夫、阿部修次、安達和三、黒崎晴郎、忍足良子、大塚順一、神林佳子、豊島文枝、小宮トシエ、長岡利夫、中村恵美子、石上俊夫、小宮秀雄、溝手俊一、石川春子、本田善一、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、荒木ムツ、奥瀬洋子、黒崎勝、品田紀美子、相内テ



(伝統芸能保存会の皆様によるシャギリ演奏)

ル、吉井均、鯉島照雄、安達弘之

(昭和31〜40卒)

小野塚清、藤塚悟、小宮善興、大塚國夫、芝満雄、黒瀬良子、吉井信三、諸我時夫、安達弘、工藤イツ、黒崎正雄、五十嵐哲郎、山家恵美子、寺町明美、本田秀幸、松井京子、本田利美、芝強、阿部武、小野塚和夫、天野八重子、佐藤正志、相崎俊夫(昭和41卒)
山口光夫、栗原知子、安達徹、安達亮一、内藤富美子、吉井宏、藤塚伸雄、安達智子、徳永隆浩、徳永雅史、堀井ひとみ、安達正博、吉田貴裕、友田啓

会員短信

阿部源一(昭15卒) 何よりの楽しみは東京片貝会でした、ありがとうございました。
山口光雄(昭19卒) 私達のクラスは参加者名簿の上になつてきました、達者のうちは参加します。会員少なくなり大変ですね。
清水敏雄(昭21卒) 今回も出席しようと思いましたが、まだ遠出する自信がありません。大変残念ですが欠席させていただきます。

本田正弘(昭28卒) 行事が重なってしまい欠席させて頂きます。盛会お祈りします。

〔東京片貝会へのご寄付〕

左記の方々から東京片貝会へご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略、順不同)

友田明石(JA越後おぢや)、江澤キヨ(19)、星シズ(19)、阿部修次(21)、大塚順一(22)、忍足良子(22)、中村恵美子(23)、小宮秀雄(26)、品田紀美子(28)、安達弘之(30)、大塚國夫(31)、芝満雄(31)、藤塚 悟(31)、諸我時夫(32)、安達弘(33)、安達徹(41)、松井正之(46)、徳永雅史(53)

山崎勝子(昭26卒) 何時もありがとうございます。病氣検査のため欠席させて頂きます。

熊谷満里子(昭31卒)「会報」読ませていただき感銘いたしました。
吉原幸夫(昭33卒) いつも会報をありがとうございます。堀井健次(昭34卒) 残念ながら所用があり欠席させて頂きます。会報いつも楽しく読ませて頂いております。

黒崎音吉氏(86歳)御逝去

(13年卒 二六蛸雪会)
11月26日御逝去。永年、会のためにご尽力され、盛り上げて頂きました。謹んで哀悼の意を表します。

※有料広告欄※

奥瀬 クリーニング店

奥瀬洋子
(昭28年卒・大屋敷)
〒194-0021
東京都町田市の中町4-5-3
042-723-5727

税務相談

お気軽にどうぞ
もろが会計事務所
諸我時夫(昭32年卒)
柏市増尾8-22-9
自宅 04-7176-4528
事務所 03-3888-4190

諸我石材店

基礎・灯籠
石材加工販売
諸我和成
〒947-0101
小千谷市片貝町一の町
0258-84-2317

精密プレス金型 精密治工具 (設計製作) 新越精機(株)

藤塚 悟(昭31・屋敷)
〒124-0012
葛飾区立石8-54-7
03-3696-0561

母校を励ます会教育講演会

第30回 「私が選んだ道」

安達勝己氏 昭和50年卒 恒友会
平成24年10月12日 片貝中学校にて

東京片貝会の皆様、私は片貝中学校第31回卒業 恒友会の安達勝己と申します。

「人生は自ら切り開くもの。」と自分に言い聞かせ、宿命の地片貝を後にし、自分の仕事を使命と信じ、運命に挑み続けてきました。信じた道に後悔はありませんが、今振り返ると、私は自分のためだけに生きる生き方をしてきたように思います。

愛する両親なのに仕事を言い訳に親孝行は何一つ行っていない。一番寄り添わなければならぬ弟や妹にも反対に気遣いをさせ続けています。「他人の心の痛みはわかる人間でありたい。」と思いつけてきた私ですが、本当は自分の都合のいいように生きて来たのだと思います。

ここ数年、気持ちが落ち着かず、すぐにイライラする事が多くなり、大きな心を持っていないと思っていた自分は情けない自分だけが私を覆っていました。このままではいけないと思っていた矢先、講演



ご両親と

会のお話をいただき、自分を見つめなおす日々を始めたのです。

自分とは何か？アイデンティティを探している中で、片貝のしがらみから離れていた自由な自分が実はそれをずっと求め続けていたことに気付いたのです。平成24年9月10日、50歳の片貝祭りは子供の頃の自分に戻って祭りを楽しもう……と心に決めて、再会した恒友会の仲間、恩師、片貝町民の方々に接しながら、片貝町を最大限の五感を使って歩きました。色々な方々に声をかけ、握手し、そして抱きしめました。それは今まで時間の中で最高の時間でありました。

東京片貝会の皆様、片貝の子供たちは片貝の心、感謝する心です、を持っていきます。仲間が何気なく話した町外の人からの投書に、「片貝の子供たちは横断歩道で車が停まってくれと、まず一礼し、横断した後も必ず一礼してくれ

る。その方は今まで片貝以外でも同じ行為を行っていたが、片貝の子供達は全員が感謝の気持ちを表してくれる。素晴らしい町である。」というものでした。その話を聞いて私は心が穏やかになりました。講演会で子供達に接した時、一人ひとりの目の輝きが私にそのことを伝えていました。子供たちは東京片貝会の皆様を始め片貝町民、小中学校の教職員の方々の深い愛情の中で育まれ生活しています。私も今、そのおかげで生かされていることに感謝し、これからも自分の使命に生きていこうと決意しました。何処で最後を迎えても魂は片貝に帰りたいと思います。

「見えない心が見える町、片貝」ふるさと片貝に育てられたことを感謝しています。ありがとうございます。ごさいました。(安達)

「母校を励ます会基金」

「協力者名」

(敬称略・順不同)・(卒年)

(H24・4・15・10・31)

三井ミヨ(10)、黒崎音吉(13)、

山岸慶明・内山キミ(15)、本

田ユキ・岩片智恵子(16)、松

下利夫(18)、江澤キヨ・星シ

ズ・小宮幸雄・佐藤昭六・山

口光雄(19)、阿部修次・神林

勝夫・黒崎晴郎・佐藤安治・

安達和三(21)、大塚順一・神

林佳子(22)、中村恵美子(23)、

新澤須美・山口弘(24)、小

宮秀雄(26)、藤塚浩治・松

岡規子・荒木ムツ・佐藤祐一

(27)、相内テル・黒崎勝・品

田紀美子・奥瀬洋子・本田正

弘(28)、鯉島昭雄(29)、安達

弘之(30)、大塚國夫・藤塚悟・

小野塚清・芝満雄・黒瀬

良子・宇野澤誠子・熊谷満里

子(31)、吉井信三・諸我時夫

(32)、安達弘(33)、堀井健次

(34)、五十嵐哲郎・工藤イツ・

山屋恵美子・黒崎正雄・高波

国男・小宮文雄(35)、本田秀

幸・松井京子・寺町明美(37)、

阿部武・小野塚和夫・芝強・

本田利美・坂牧正・藤塚栄

三(38)、佐藤正志(39)、相

崎俊夫(40)、安達亮一(42)、

内藤富美子(43)、高野昭人

(47)、藤塚伸雄(48)、徳永

隆浩・安達智子(52)、徳永

雅史(53)、堀井ひとみ(54)、

安達正博(55)

同級会の動き

・白樺会同級会 5/22〜23
江の島にて開催、14名が参加(片貝より6名参加)

初日は雨、雨の中江の島観光、ホテルで宴会後部屋に戻り思い出話に花が咲く。翌日は晴れ、海を挟んだ箱根連山の上には富士山がくつきり。江ノ電を利用鎌倉観光、時間の都合もあり長谷の大仏観光後鎌倉市内へ。午後は自由に観光、小町通りで買い物をして解散、帰途についた。

・43年卒つくし会 11/24〜25
つくしんぼうお楽しみツアー
奥武蔵温泉にて一泊。鎌北湖畔の宿「晩秋のもみじ彩る恋心」ほの字に染まる熟年男女」翌日は小江戸川越を散策。片貝組と合わせ20名参加

・23回卒つくし会 10/27
首都圏在住者は、東京つくしみ会と称し、都内(汐留)に集まりました。少数精鋭6名でした。2年後の還暦花火の話などでおおいに盛り上がりました。(安達亮一)



江ノ島にて 白樺会

季節料理
海の幸・田舎料理・けんさん焼

信濃

後藤美恵子(旧姓刃毛田)
(昭31年卒)
さいたま市西区指扇領
別所380-28
Tel・Fax.048-623-1283

安心できる「いこう」の暮らし
グループホーム(高齢者福祉施設)

安心の里いこう

高波(旧姓・横山) 国男
(昭35年卒・池津)
〒121-824
足立区西伊興3-7-2
03-3856-6541

「患者さんとお医者さん」

～にゃんこ先生奮闘記～
安達昌子 著

人に寄り添う医療を求めて

発売：丸善出版
発行：マイウェイ書房
TEL 03-5826-5787
http://www.myway-kyokai.gr.jp
info@myway-kyokai.gr.jp

ふるさと・は・今

H24年6月より
H24年11月まで

母校近況

中学校

○数字は
順位

平成24年度片貝中学校の大会等の主な記録です。千五百Mで陸上北信越大会に出場したこと、駅伝男子が県大会8位に入賞したことが大きな出来事でした。

第1回カイイク二杯卓球大会

男子団体 優勝

十日町市長杯バレー 優勝

市内陸上大会

小学校

○数字は
順位

わんぱく相撲小千谷5/12

女子3年③藤塚亜子、6年

①青木玲緒、男子4年③阿部

道徳、5年②宮島永遠、特別

賞4年 阿部道徳

小千谷ジュニア水泳7/28

6年50m背泳①内山颯、50

mバタフライ①大矢涼介、百

m平泳②大矢涼介、女子6年

百m平泳①五十嵐沙月、50m

背泳②安達梨花、百m自由

形②丸山二千花、50m自由形

③丸山二千花

小千谷ジュニア陸上8/19

男子4年百m①阿部道徳、

八百m②坂井洗介、千五百m

①大矢隼、走幅跳②五十嵐空

翔・吉井柊斗・安達大和・大

小千谷ライオンズクラブ杯
排球優勝片山A、野球②
山城杯争奪バレー 優勝
わたしの主張小千谷魚沼大会
優秀賞 安達諒
燕市近郷中学校卓球大会
男子個人③吉井大樹
市内クロスカントリ
男子A競技 優勝
中越地区中学校駅伝 5位
新潟県中学校駅伝大会
男子 42校中8位(高橋幸
樹、山口大哉、山口敦大、小
野塚憲司、小林椋、黒崎虎太
朗)
柏崎刈羽中学バレー 3位
ゆのたにバレー 優勝

町のしげい

・片貝祭り

若・小若や同級会の玉送りの笛、太鼓が町内に響き、祭りムード満点。天候に恵まれ、四尺玉二発、三尺玉四発など豪快に打ち上げられる花火も雲に邪魔されることもなく、澄んだ夜空に花開いていた。境内では屋根が新設された相撲場で県内選抜力士による恒例の相撲大会が観客を集めていた。

・片貝町民駅伝 11/13

小学校グラウンド発着5区間12km、小学生から還暦過ぎまで35チームが参加した。部門別で、総合①片貝中チーム②え！1位ねらってないっすよ③ラクラクBOYS、女子①GTT②翔心会B、同級会①恒嘩会A、社会人①て組古若A②なかよし会伊佐さんのめぐみ③片貝製作所A

・お盆町内対抗野球大会 8/15

町内七チームが参加。①三ノ町(相崎敏・芝昭男・芝直樹・浅田淳成・浅田辰徳・浅田雅人・浅田勇太・横山貴行・黒崎潤・横山亮太・佐藤正美)②一ノ町

・片貝保育園児イモ堀

横山隆一さんが無償提供する町裏の芋畑でサツマイモほり。百名以上の園児が歓声を上げていた。

・大相撲鋳山部屋朝稽古

8/11 浅原神社境内の相撲場で朝稽古を見る会に八百人くらいの観客が集まった。海洋高校と能生中学校の相撲部員も合流し稽古を行った。

・片貝総合文化展

総合センターで11/2・3開催。美術、陶芸、生け花、写真、生徒作品など

・小千谷市展 10/27審査

片貝の入選者は南波謙一(水墨画)、黒崎剛(工芸・彫塑)

・市民弓道大会

8/5 県内外からも参加があり、26名が戦った。片貝入賞者は女子五十射の部③佐藤純子

・野点と野外コンサート

10/8 四之町越後屋さんにて合唱グループ「山河」が企画、二百名が集まり盛会だった。

・魚沼病院と小千谷病院 四年後に統合を発表

規模の拡大での存続を目指して三年来協議が続けられていた統合協議がまとまり、統合の発表があった。四年後に開院予定であり、市民の医療を担っていくことが期待される。場所は未定。

・JA越後おぢや 十周年のつどい 11/12

平成16年の中越大地震を乗り越えて、合併以来十年順調に発展してきた。地域の農業振興、復旧復興に貢献したと祝辞があった。

・潜在型農園ラウベ募集

山本山に30棟(農園二百㎡、建屋四十㎡)あり、年四十万円弱で利用でき、多彩な行事もある。利用は年単位、希望者は市まで。

・市高齢化率は28%強

厚生労働省発表。全国平均23%、新潟県26%を上回っているが、県内20市中10番目。百歳以上は21人、要介護認定者は二〇四九人

・秋の求人、求職状況

有効求人倍数0.75倍と以前厳しい状況。高校卒業の求職者も70名程度とのこと

あとがき

片貝ではまつりに続いて町民運動会や、町民駅伝などが開催され、厄年の同級会では正月の福もちまきなどに始まる記念行事の準備を始めています。伝統のバレー部は最少の六名で戦っています。出欠返信ハガキなどで近況など、皆様のご投稿をお待ちしております。 本田秀幸、安達徹